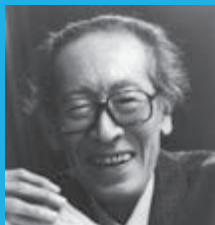


国際的な視野で小説を執筆

堀田 善衛

1918 (大正7) 年7月17日—1998 (平成10) 年9月5日



撮影：小池守

たかおか あくたがわしやう
高岡生まれの芥川賞作家

こくさいてき しやてん
国際的な視点をもった小説家

「アジア・アフリカ作家会議」に参加

すべては移り変わる

いみずぐんふし ままち げんたかおかし たまたまふね
射水郡伏木町 (現高岡市) で北前船
かいせんどんや つるや
回船問屋「鶴屋」の家に三男として生
まれました。大正時代には汽船が普及

し、北前船が使われなくなったため、「鶴屋」も没落していきました。善衛はすべてのものは移り変わることを身にしみ感じていました。これが作家としての善衛の世界観を形づくりします。

戦後の文壇で活躍する

よしえ どうじんし
善衛は大学時代から同人誌に加わり、詩やエッセー、評論などを書いていました。大学卒業後、就職した国際文化振興会から中国の上海へ派遣され、そこで第二次世界大戦の終戦を迎えました。

帰国してからは小説を書き始め、1952 (昭和27) 年に『広場の孤独』などで芥川賞を受賞しました。そ

の後も多くの小説や評論を発表し、中でも『方丈記』を書いた鴨長明の人間性*を見つめ、自身の戦中体験と重ねた長編エッセー『方丈記私記』は、今でも高い評価を受けています。

善衛は「アジア・アフリカ作家会議」の事務局長や議長を務めるなど、国際的な視野をもって活躍しました。スペインの画家ゴヤを描いた評伝『ゴヤ』で、スペイン政府から勲章を授与されました。

夢や志をかなえたポイント!

- 世の中の変化を理解する
- 外国のことに興味をもつ
- 人間性を大切にする



代表作評伝『ゴヤ』執筆の際に参考とした図書の一部 (明治学院大学図書館堀田善衛文庫蔵)

* 人間性 【にんげんせい】

とくゆう せいしつ
人間に特有の性質や人が生まれつきもっている性質。人間らしさのこと。